

ケナフ卒業証書に

合岸本小6年生種まき

香南市

紙の... 毎年6年生が... 栽培、手すき作業を行... 岸本小6年生種まき... 卒業証書を作ってい... となる。

28日には、当初から講師役を務める香美市の宮地亀好さん(79)に教わりながら、学校横の畑に小さな種を5、6粒ずつまいていった。宮地さんによると、この日植えたケナフは成長すると4メートルの高さになるとい



9、丁寧に種をまいた岸本小6年生 (香南市香我美町岸本)

う。児童は今後、間引きや施肥などの世話をしていく。

1月下旬〜2月初旬

(村中澄彦)

に刈り取り、手すきで卒業証書を完成させる予定。山本千君(11)は「でっかく育ってほしい。今年で最後だから、頑張つてきれいでかつこいい卒業証書を作りたい」と話していた。



木製ベンチを作る住民ら (佐川町の集落活動センター「加茂の里」)

町歩きの休息場所を

佐川町産木材でベンチ

【佐川】気軽に町歩きを楽しんでもらうため休息できる場所を作ろうと、高岡郡佐川町加茂の集落活動センター「加茂の里」でこのほど、地域住民ら15人が町産木材を使ったベンチ作りに挑戦した。

同町は「第5次町総

で、東京都の1級建築

合計画」で健康づくり

や見守り運動につながる町歩きの推進を掲げている。その一環として、住民参加型のベンチ製作を企画し、初回は加茂地区の住民らに呼び掛けた。

ベンチは2人掛け

で、東京都の1級建築



士事務所がデザイン。部品を組み立て、接着剤で固定するだけで簡単に作れる仕組みで、木材は町内で伐採から製材までを行ったヒノキを使った。

参加者は、部品のやりがけや組み立てを行い、5脚を作製。参加した近くの横畠正孝さん(70)は「結構簡単やね。これが集いにつながっていいけば」と話していた。ベンチは同センターに設置し、イベントなどでも活用する予定という。

町の担当者は「ベンチ作りをほかの地域にも広げていけたら」としている。

(森田千尋)

さん(96)は高知市愛宕町4丁目11の紙芝居公演がこのほど、香南市香我美町徳王子の香我を招いて

横顔

「車のエンジン」のよう、政策提言を前に進める力が今の議会には求められている」

緊張感を大事に

四万十市内の食器屋の長男。愛光中高、関西大を卒業後、「物売りをしたい」と工業用計器メーカーに就職した。30歳で帰郷し旅行会社に勤務する傍ら、市議会議員だった父親の後を受け、38歳で初当選。現在4期目を務める。

「民間と行政のスピード感のの違いを感じていた。商売、な

休耕

【窪川】

十町大正正... ティアグラ... が、休耕... 花畑造り... いる。27... サポーター... 381号沿い... 種と苗を... バーは「... 里にした... 等間隔で... 苗を植えて... ち(四万十

松村和明・高知市商工観光部長

公正取引委員会へ調査を求めているが。

「申し立て内容を見定めた市... 官製談合... 定される... 市が作成した『審... ていないが、官製談合... 定される... 市が作成した『審... ていないが、官製談合... 定される... 市が作成した『審... ていないが、官製談合... 定される...